

※正答率

	国語	数学	英語	3教科
勝田中	77.5	59.1	64.7	201.3
基礎	80.4	60.3	69.4	
活用	67.1	53.3	53	
岡山県	70.2	59.3	59.8	189.3

※結果分析(○できている ●できていない)

〈学力調査〉

- 【国語】○小中学校で学習した漢字の読み・書きができる。
 ○グラフから読み取ったことを元に、自分の考えを条件に従って書くことができる。
 ●文章の展開に即して内容をとらえることがじゅうぶんにできていない。
 ●文学作品の場面の展開をとらえることができていない。

- 【数学】○比例でx、yの値を求めたり、比例式の計算ができる。
 ○資料の整理で、相対度数の計算ができる。
 ●一次式の減法の計算、方程式・不等式の立式ができていない。
 ●比例のグラフの書き方、反比例の式の求め方ができていない。
 ●度数分布表の階級の幅が理解できていない。

- 【英語】○対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(聞くこと)
 ○まとまった内容で自己紹介をする文を書くことができる。(書くこと・表現)
 ●長文を読み、内容を十分に把握できていない。
 ●場面に応じて、英語で質問する文を書くことができにくい。

〈学習状況調査〉

- 時間を決めてテレビを見て、就寝している。言われなくても進んで勉強しており、家庭学習の時間も県と比較して多い。ゲームやスマホの時間は県平均よりかなり少ない。地域の行事に参加して、あいさつをしていると答えている生徒が多い。
 ●自分が好き、良いところがあると感じている生徒の割合が県平均と比べてやや少ない。人から認められていると答えている生徒の割合が県に比べてやや少ない。

〈学校としての対応・目標〉

国語、英語で県平均を上回っています。学力学習状況調査での課題に取り組み、学習事項の定着に向け、一層、努力します。

①授業に力を入れます。→「かつたっ子授業のスタンダード」をベースにした授業づくり

- ・毎時間の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の確認)の時間を設ける。
- ・ICT機器などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫する。
- ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面、まとめ、ふりかえりの場面を設定する。

②学習習慣をつけられるようにします。

毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウイークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、必ず提出する習慣をつける。

③将来の夢や自己有用感を持たせる工夫をします。日常の生活で規範意識を大切にして、継続して取り組んだ努力が自分を高めることを実感させるようにします。

〈保護者の皆様へのお願い〉

課題とその提出状況をテスト連絡ファイルでご家庭にお知らせしています。提出の遅れも含め、お子様の家庭学習の達成度をご確認ください。家庭学習とスマホ使用の自己コントロールが習慣化してきています。引き続き、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。お子様とのコミュニケーションを大切にさせていただくようにお願いします。